

# 小学校 国語

年	組	番	氏名
---	---	---	----

川田さんたちの学級では、グループごとに「家庭学習の取り組み方」というテーマで話し合って提案書を作ります。提案書に書くことを考えながら、【話し合いの様子の一部】を読み、あとの問いに答えましょう。

## 【話し合いの様子の一部】

川田	みなさんは、どのように家庭学習に取り組んでいますか。	全員	賛成です。
小泉	私は家に帰ったらすぐに勉強しています。むずかしい算数の問題をすると、一時間ぐらい時間がかかります。	川田	まず、みなさんは、六十分以上の家庭学習の時間をどのように確保していますか。
山本	ぼくは、ねる前に勉強します。でも、ゲームで遊んでいたらねむくなり、朝起きてから、宿題だけさっとすることがあります。	水沢	私は、習い事など、自分の都合に合わせて二回に分けるなど、工夫して家庭学習の時間を確保するとよいと思います。
小泉	「富山小の家庭学習の手引き」には、「高学年の家庭学習の時間の目安は六十分以上」とありますが、山本さんは、六十分の勉強時間をとるのがむずかしいようですね。	今井	短い時間で分けると、学習する時間を確保しやすくなります。
水沢	私は、習い事のある日は、夕飯の前と後に分けて合計六十分ぐらい勉強するようにしています。短い時間には漢字練習や計算練習を行うなど、勉強する内容も工夫しています。	吉田	それもよいと思いますが、ぼくは、六十分続けて勉強する時間を確保したいので、生活表を作って時間を計画的に使うようにしています。
石田	私も短い時間を活用して、言葉の意味調べをしたりテスト問題の復習をしたりしています。	山本	ゲームをやめられない人は、生活表があると、生活時間を見直すこともできますね。
吉田	ぼくは、六十分続けて勉強することも大切だと思うので、続けるように努力しています。じっくりと問題に取り組んだり、事典やインターネットを使って調べ学習をしたりします。	吉田	時間を守れたかを自分でふり返ると、六十分の勉強時間を確保するために、時間を気にしながら活動するようになると思います。
川田	家庭学習の時間を確保する方法と家庭学習の内容について、意見が出ています。この二つのことを提案しますか。	川田	家庭学習の時間を確保する具体的な方法とそのよさについて意見が出ました。では、家庭学習の内容について意見はありませんか。 (話し合いは続く)

【一】 川田さんは司会を務めています。この【話し合いの様子の一部】での司会の役割として当てはまらないものを次のアからエまでのの中から一つ選んで記号で書きましよう。

- ア 家庭学習の取り組みについて、観点ごとに意見を求めている。
- イ 家庭学習の取り組みについて、時間を確保する方法と内容を提案しようとしている。
- ウ 家庭学習の取り組みについて、問題点を挙げて解決しようとしている。
- エ 家庭学習の取り組みについて、時間の確保と内容の二つの観点で整理している。

【二】 川田さんのグループは話し合いのあと、提案書を作っています。【1 時間の確保の方法】の提案部分【A】について【条件】に合わせて書きましよう。

【条件】 ○二つの方法のよい点を、【2 内容】の書き方を参考にして書く。  
○それぞれのよい点について、五十字以内で書く。（数字を書く場合は一マスに書く）

## 60分以上の家庭学習をしよう

川田グループ

高学年になると、学習内容がむずかしくなり教科も増えるので、60分以上の家庭学習が必要だと考える。しかし、習い事などで、60分以上の学習ができない人もいる。そこで、家庭学習の「時間の確保の方法」と「内容」の点から60分以上の家庭学習をするための提案をする。

### 1 時間の確保の方法

ア 短い時間で分ける場合

イ 60分続ける場合

A

### 2 内容

ア 短い時間で分ける場合

漢字練習や計算練習、言葉の意味調べ、テスト問題の復習などをする。少しずつ多くのことができたり、集中力が続かないときに気持ちを切り替えるながら取り組むことができたりするよさがある。

イ 60分続ける場合

苦手な問題や調べ学習などをする。じっくりと取り組んだり、事典やインターネットなどのいろいろな方法で調べたりすることができるよさがある。

自分に合った方法で家庭学習に取り組んでみてはどうだろうか。

(横書きで◆から書きます)

①

短い時間で分ける場合



50字

②

60分続ける場合



50字

※ 左は下書き用紙です。使っても使わなくてもかまいません。

二

一

--

(横書きで、◆から書きます)

①

短い時間で分ける場合

◆

50字

②

60分続ける場合

◆

50字

年

組

番

氏名

年
組
番
氏名

(横書きで、◆から書きます)

① 短 い 時 間 で 分 け る 場 合  
◆ 習 い 事 な ど の 自 分 の 都  
合 に 合 わ せ る こ と が で き、  
学 習 す る 時 間 を 確 保 し や  
す い と い う よ さ が あ る 。

50 字

② 60 分 続 け る 場 合  
◆ 生 活 表 を 作 っ て、 計 画  
的 に 時 間 を 使 う よ う に し  
た り、 生 活 時 間 を 見 直 し  
た り す る こ と が で き る よ  
さ が あ る 。

50 字

ウ

## 〈小学校 国語 解説〉

### 設問一

#### 1 解説

##### 趣旨

「話し合いの様子の一部」から、司会者の発言の意図や話し合いの流れを捉えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。

#### ■評価の観点

話す・聞く能力

#### 解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
一	1	ウと解答しているもの	◎
	9	上記以外の解答	
	0	無解答	

#### ■正答について

【話し合いの様子の一部】の中で、まず、司会役の川田さんは「どのように家庭学習に取り組んでいますか」と投げかけ、家庭学習の時間の確保の方法と内容の2点で整理し、「この二つのことを提案しますか」とグループの意見をまとめている。そして、「家庭学習の時間をどのように確保していますか」「家庭学習の内容について意見はありませんか」と観点を示して意見を求めている。家庭学習の取組について、問題点となることは挙げられておらず、そのための解決方法を求めているので、この【話し合いの様子の一部】での司会の役割として当てはまらないものはウである。

#### 2 学習指導に当たって

##### ○ 司会の役割を理解し、意図を捉えながら話し合いの観点を整理する

目的や意図に応じて計画的に話し合うために、司会は重要な役割をもつ。特に、話し手の発言を受け止め、観点を明確にしていくことが重要である。そのために、司会役には、まず発言内容をよく聞き、話し手の考えの中心を捉えるように指導する。さらに、複数の発言内容について、それぞれの立場や見解を分類・整理するなどして適切な観点を設定するように指導することも大切である。各教科等との関連も図りながら、全員が司会の役割を経験する機会を設けるなどして、具体的に指導することが重要である。

## 設問二

### 1 解説

#### 趣旨

目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年・第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

#### ■評価の観点

書く能力

#### 解答類型

問題番号	解答類型	正答
二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 二つの方法のよい点を、 <b>2 内容</b> の書き方を参考にして書いている。 ② それぞれのよい点について、50字以内で書いている。 ~~~~~ (正答例) ア 短い時間で分ける場合 習い事などの自分の都合に合わせてことができ、学習する時間を確保しやすいというよさがある。 イ 60分続ける場合 生活表を作って、計画的に時間を使うようにしたり、生活時間を見直したりすることができるよさがある。	
1	条件①、②を満たしているもの	◎
2	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの	
3	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの	
9	上記以外の解答	
0	無解答	

#### ■正答について

60分以上の家庭学習の時間を確保する方法として、「短い時間で分ける場合」と「60分続ける場合」の二つが見出しに挙げられている。それぞれのよさについての発言は、「自分の都合に合わせてられる」「時間を確保しやすい」「時間を計画的に

使うようにする」「生活時間を見直すことができる」であり、それらを条件に合わせて書く必要がある。

## 2 学習指導に当たって

### ○ 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く

読み手に分かりやすく伝えるためには、具体的な事実を基にしたり、複数の内容を関係付けたりしながら、必要な内容を整理して簡潔に書くことが重要である。

本問のような提案書や新聞、リーフレット等を書くときには、見出しを付け、具体的な事実と自分の感想、意見等を区別しながら、読み手に必要な内容を分かりやすく伝えるように整理して書くように指導する。目的や意図に応じて要点をまとめて書く学習活動を工夫し、国語科だけでなく、各教科においても、意図的、計画的に設定することが大切である。